

巨摩スタイルは、 頑張るスタイル!

嬉しいスタイル・・・
 美しいスタイル・・・
 強くたくましいスタイル・・・
 そんなたくさんのスタイルが
 ここにはあります。
 どのスタイルも『楽しむ』スタイル。
 だから、みんな頑張れるんです。



特集 Special edition
 ●第70回 山梨県高等学校総合体育大会
 ●米国研修2018 The USA Study Trip 2018
 ●第8回 ESD国際交流プログラムに参加して

いんぷおめーしょん

学園祭 白嶺祭
 6月23日(土)
 ●場所…巨摩高等学校
 ●対象…本校生徒保護者、友人、近隣の方
 ●内容…クラス企画、屋台、文化部展示
 呈茶など

学校説明会

7月21日(土) 9:40~ / 13:40~
 ●場所…櫛形生涯学習センター
 「あやめホール」
 ●対象…中学生とその保護者、
 中学校教職員
 ●内容…学校紹介、入試説明、
 文化部発表など

オープンスクール

8月25日(土) 8:30~
 ●場所…巨摩高等学校
 ●対象…中学生とその保護者、
 中学校教職員
 ●内容…授業体験、部活動見学、
 学校説明など



平成29年度 | 進 | 路 | 実 | 績 |
国公立大学合格者 42名
私立大学合格者 173名

山梨大学、山梨県立大学、信州大学、静岡大、東京理科大等に合格

| 平成29年度 合格者数 (単位:人) | | 平成29年度 主な合格大学 (現役生のみ) | |
|--------------------|-----|-----------------------|----------|
| 国公立大学 | 42 | 一部抜粋 | (現役生のみ) |
| 私立大学 | 173 | 山梨大学 | 信州大学 |
| 公立・私立短大 | 26 | 富山大学 | 高知大学 |
| 専門学校等 | 69 | 山梨県立大学 | 都留文科大学 |
| 就 職 | 3 | 高崎経済大学 | 諏訪東京理科大学 |
| | | 私立大学 | |
| | | 東京理科大学 | 芝浦工業大学 |
| | | 東京電機大学 | 明治学院大学 |
| | | 立命館大学 | 武蔵大学 |
| | | 玉川大学 | 北里大学 |
| | | 専修大学 | 東洋大学 |
| | | 日本大学 | 駒澤大学 |
| | | 亜細亜大学 | 神奈川大学 |
| | | 山梨英和大学 | 山梨学院大学 |

高志を持ち挑戦する巨摩高生
 平成29年度進路状況を振り返って
 みなさんはどのような夢や希望を持っていますか。そしてそのために続けていることはありますか。今、社会構造が大きく変化してきています。そこで求められる力は知識の習得や決められた正解にたどり着く力だけではありません。その知識をもとに、新たな問題を解決する力、主体的に働きかける力、力強く生きぬいていく力が必要になってきています。生徒みなさんがそれらの力をつけることが巨摩高校の目標であり、校訓「進修実践」なのです。そしてそれを培うのが巨摩スタイルなのです。今年も多くの先輩たちが自分の進路実現を果たし果立っていかれました。入学してから3年間で、自分の適性や進路を模索しながら、部活動との両立を目標に日々文武両道を達成するよう頑張ってきました。また「受験は団体戦」と言われます。自分の事だけでは無く、共に頑張ろうという雰囲気大切です。今年2月あるクラスに行くくと推薦等で早い時期に進路が決まった生徒も一般入試を受験する生徒と同じように勉強していました。確かな目標と挑戦する姿勢を持って一緒に頑張っていきたいと思います。



私は世界を直接自分の目で見て、耳で聞き、心で感じたいと思います。この国際交流プログラムに応募しました。始めは、インドネシアについては、発展途上国でまだ技術が発展しきつておらず、環境が整っていない国だと自分勝手な固定観念にとらわれ、訪問するまで緊張や不安がありました。けれども、現地に着いた途端、その考えは大きく変わりました。高層ビルや地下鉄の工事、ショッピングモールなど、日本と変わらない風景に驚いたのと同時に、どこか親近感を感じ安心したことを覚えています。

それからは、驚きと感動の連続でした。交通量が多いことや三色の分別されたゴミ箱がいたる所にあること、現地の高校生はネイティブのように英語が話せることなど、日々驚くことばかりでした。また、それを一日の終わりに研修仲間とシェアすることがとても楽しかったです。中でも私が一番感銘を受けたのは宗教についてです。生徒との交流の中で、一定の時間になると「お祈り」に行く生徒が何人かいました。授業中にもあるようで、それが日常であることに大変驚きました。学校にお祈りをする場所が設けられていること、宗教ごとにクラスが分かれていることなど、様々な宗教が入り混じっている中で、それぞれに配慮した生活様式や、相手を尊重し理解した上で関係を築いている姿が見られたことは、とても新鮮な体験で、大きな刺激を受けました。そして、宗教の違いを背景とした紛争が多い現代に、一方でインドネシアのようにその多様性を認め合って暮らす人々がいることを知りました。国や、文化の違いを認め、互いを理解し共生していく環境づくりをしていかなければならないと痛感しました。日本に戻った今、今回のプログラムで出会った方々に、そしてこの機会を作ってくださった方々に感謝しています。これからはSDGs(持続可能な開発目標)の考えを多くの人に知ってもらい、誰もが行動に移してくれるよう働きかけをしていきたいと思います。ESD(持続可能な開発のための教育)活動の重要性を何度でも伝えていくこと、そしてそれを広げていくこと、それが今の私にできる最大のことでと考えています。

3月24日~31日までユネスコスクールのインドネシア研修(3月下旬の1週間)に参加した3年生の清水芽衣さんが、4月28日(土)の全校集会でその体験を語ってくれました。
第8回 ESD国際交流プログラムに参加して
 3年 清水芽衣 (白根御助使中学校出身)



No.023 巨摩高 | 百景



仲間と共に
 授業を終えた放課後に、準備運動に打ち込んでいる陸上部を撮った写真。夕日をいっぱい浴びた校舎と富士山、校庭には野球部、サッカー部も練習しています。限りある青春を、仲間と共に汗をかきながら一生懸命部活に打ち込んでいる。その一瞬をカメラに納めた一枚です。
 (写真部 河野 裕輔)

●発行…山梨県立巨摩高等学校
 〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2
 TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
 ●発行日…平成30年6月18日
 ●編集…山梨県立巨摩高等学校 総務広報係
 ●撮影協力…山梨県立巨摩高等学校 写真部

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!
 巨摩高校 検索 URL…http://www.ko.kai.ed.jp/
 E-mail…info@ko.kai.ed.jp